

○ 平成 27 年度第 1 回恵庭市社会福祉審議会会議録

平成 27 年 5 月 28 日（木）10:00～
市民会館大会議室

【出席者】

＜出席委員＞杉岡委員、小田委員、島田委員、鏡委員、中村委員、泉委員、野原委員、山田委員、熊谷委員 ＊欠席委員～西根委員、佐藤委員

＜事務局＞保健福祉部長、保健福祉部次長、子ども未来室長、子ども未来室次長、福祉課長、国保医療課長、障がい福祉課長、介護福祉課長、子育て支援課長、子育て支援課主幹、子ども家庭課長、子ども家庭課主幹、保健課長、保健課主幹、福祉課庶務担当主査（記録者） ＊欠席 子ども発達支援センター長

【傍聴】

なし

（司会進行；保健福祉部次長）

1 開会

2 委嘱状交付

改選期のため、副市長から委員全員に委嘱状を交付（任期～H29.5.26 まで）。

3 副市長挨拶

委員各位におかれましては、福祉行政はもとより、市政全般にわたりご協力いただいておりますことに心から感謝申し上げたいと存じます。本審議会は、市が策定する社会福祉に関する計画や、社会福祉を推進するための事業などについてご審議いただく機関となっております。

昨年度におきましては、恵庭市における今後の高齢者・介護等に係る施策の方向性を示した「第 6 期恵庭市高齢者保険計画・介護保険事業計画」、また障がい者に係る施策として「えにわ障がい福祉プラン」、さらには子どもに係る施策として「えにわっこ☆すこやかプラン」を策定したところでございます。策定におきましては社会福祉審議会委員の皆様並びに各専門部会の皆様の熱心な議論を経た後に策定へと至ったところであり、関わった各委員の皆様には深く感謝申し上げます。

今後の福祉に関する計画につきましては、平成２８年度より「第３期恵庭市地域福祉計画」がスタートすることから、この計画策定に係るご議論をいただく予定となっております。

昨今の地域福祉を取り巻く現状としては、孤立死という大変痛ましい事案が発生するなど、地域の人々とのふれあいが極めて希薄となっており、それらの問題解決に向けた取組が喫緊の課題となっています。それらの課題については、地域福祉計画において検討する事項でもあります。皆様方の貴重なご意見を通して、この解決にあたっていきたいと考えているところでございます。

終わりとなりますが、委員各位の益々のご健勝をご祈念申し上げまして、簡単素地ではありますが、開会にあたってのご挨拶とさせていただきます。

4 各委員、職員の自己紹介

5 審議会会長、副会長の選任

副市長が仮議長で進行。委員より、社協会長である鏡貢氏を会長に推挙する旨の発言。鏡氏が会長として選任された。副会長については、会長より杉岡直人委員が指名され、了承された。

6 会長・副会長挨拶

*鏡会長

平成２９年の５月までの任期です。それまでの間、皆様のご助言をいただきながらがんばって参ります。この審議会で審議する事項は非常に難しいものが多いですが、経験豊富な皆様でございますので、ご指導いただきながら取り組んで参る所存です。よろしくお願いいたします。

*杉岡副会長

私は、北海道の保健福祉医療関係の委員会等に所属しており、そこで得た色々な情報を提供する事が出来たらよいと考えています。社会福祉の分野においては、今後、市民の力をお願いするという流れになって行くことになっておりますが、今後、恵庭市民においてもこれらについて多様な参加をいただき、支えあうまちづくりをどうやって構築していくかが非常に重要になってくると考えます。恵庭市は医療機関や社会福祉の施設、団体が多く、また人口もコンパクトにまとまっており、国の方針として若者の定住を目指すということがあることから、出来るだけ恵庭市にも定住していただくような環境が必要ですし、また高齢者においてもいつまでも元気で働けるような

環境づくりも重要です。そのような中でどうやってお互いが支えあえる環境であるのか。商店街が衰退化している中でどうやって元気な町にするのか、そういったことを福祉と結びつけながら考えていく必要があると考えています。

<副市長退席>

7 協議事項（以下進行は会長）

(1) 恵庭市社会福祉審議会専門部会委員の所属について

*専門部会の構成に先立ち、下記専門部会の概要説明

- ① 高齢者福祉・介護保険専門部会の概要について（説明；介護福祉課長）
- ② 障害者福祉専門部会の概要について（説明；障がい福祉課長）
- ③ 児童福祉専門部会の概要について（説明；子ども家庭課長）

*専門部会委員の所属について、会長より指名。

- ・高齢者福祉・介護専門部会～杉岡委員、島田委員、中村委員、西根委員
- ・障害者専門部会～鏡委員、泉委員、野原委員、佐藤委員
- ・児童福祉専門部会～小田委員、山田委員、熊谷委員

*各委員承認につき、部会構成が決定した。

(3) その他の事項について

<福祉課長から説明>

第3期恵庭市地域福祉計画について。第2期計画については、本年平成27年度が計画終了期間になる。新たに平成28年度より新計画がスタートとなるが、平成27年度中に策定する予定となっています。社福審委員の皆様におかれましては今後お示しする資料等を基に色々議論いただくこととなりますのでよろしくお願いいたします。策定に関する所管課は福祉課となります。

<保健福祉部長から>

ただいま福祉課長から説明がありましたとおり、本年度の一番大きな案件は「地域福祉計画策定」に関することです。これは社会福祉法第107条に市町村は「地域福祉の推進に関する事項として次に掲げる事項を一体的に定め」と、規程されており、これに基づき策定するものです。したがって、昨年定めました3つの計画（「第6期恵庭市高齢者保険計画・介護保険事業計画」、「えにわ障がい福祉プラン」、「えにわっこ☆すこやかプラン」）の上位の計画となるものです。本来であ

れば地域福祉計画もこれらの計画と同時策定となるのが望ましいのですが、恵庭市総合計画が平成28年度から10年間の計画として、新たにスタートするところであり、この計画は前期・後期とそれぞれ5年ごとに見直す計画となっていることから、地域福祉計画においてもこれらのスケジュールと合わせたものとなっているところではあります。

昨年度策定した3つの計画をこの地域福祉計画の中に盛り込みながら、上位計画という立場の中で策定していきたいと考えています。

本年度につきましては、3部会の中で各計画の推進状況の確認、さらには地域福祉計画策定について皆様のご意見をお聞きするということになると思います。昨年度は非常に多い回数の部会を開催しましたが、今年においても皆様のご意見を伺い地域福祉計画を策定して参りますのでどうぞご協力をよろしくお願いいたします。

8. その他

(保健福祉部次長)

次回の審議会及び各専門部会の開催については、開催の都度皆様にご案内をいたしますので、よろしくお願いいたします。

9. 閉会

10時40分 閉会

平成 27 年度 第 1 回 恵庭市社会福祉審議会

日 時：平成 27 年 5 月 28 日（木） 10:00～

場 所：市民会館大会議室

<会議次第>

- 1.開会
- 2.委嘱状の交付
- 3.恵庭市副市長あいさつ
- 4.恵庭市社会福祉審議会委員自己紹介
- 5.恵庭市社会福祉審議会会長及び副会長の選任
- 6.会長あいさつ
- 7.協議事項
 - (1)恵庭市社会福祉審議会専門部会委員の所属について
 - (2)その他
- 8.その他
- 9.閉会

○恵庭市社会福祉審議会委員名簿（任期；H27.5.27～H29.5.26）

区分	NO	氏名	所属	所属役職	専門部会	新任・再任
知識・経験者	1	杉岡 直人	北星学園大学	教授	高齢・介護	再任
	2	小田 進一	北海道文教大学	教授	児童福祉	再任
関係団体又は団体の推薦する者	3	島田 道朗	恵庭市医師会	会長	高齢・介護	再任
	4	鏡 貢	恵庭市社会福祉協議会	会長	障がい	再任
	5	中村 正人	恵庭市老人クラブ連合会	会長	高齢・介護	再任
	6	西根 輝雄	恵庭市民生委員児童委員 連絡協議会	会長	高齢・介護	再任
	7	泉 司	恵庭市身体障害者福祉 協会	副会長	障がい	再任
	8	野原 聡	恵庭市町内会連合会	会長	障がい	再任
	9	山田 聡	恵庭市教頭会	研修部長	児童福祉	新任
	10	佐藤 順一	恵庭商工会議所	常務理事兼事務局長	障がい	再任
	11	熊谷 洋子	恵庭市地域女性連絡会	副会長	児童福祉	新任